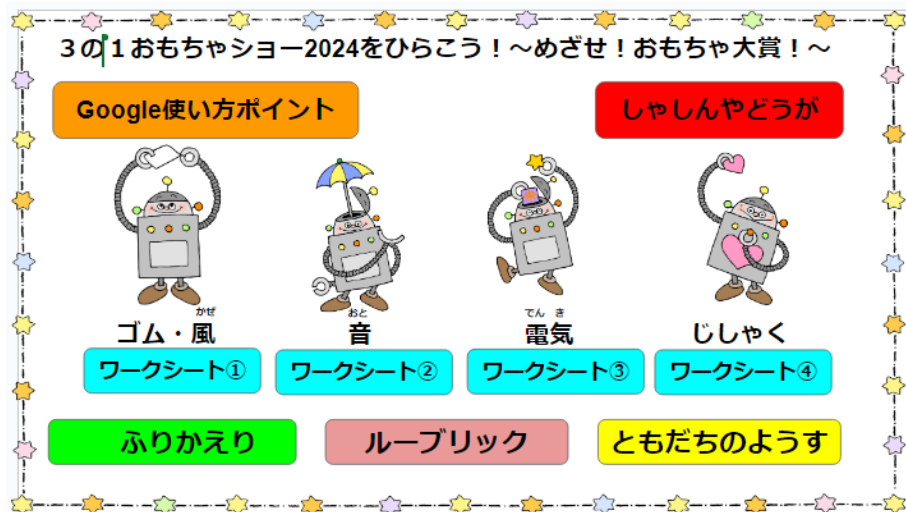


リーディングDXスクール事業【実践事例】

武雄市立武内小学校（佐賀県）【指定校】

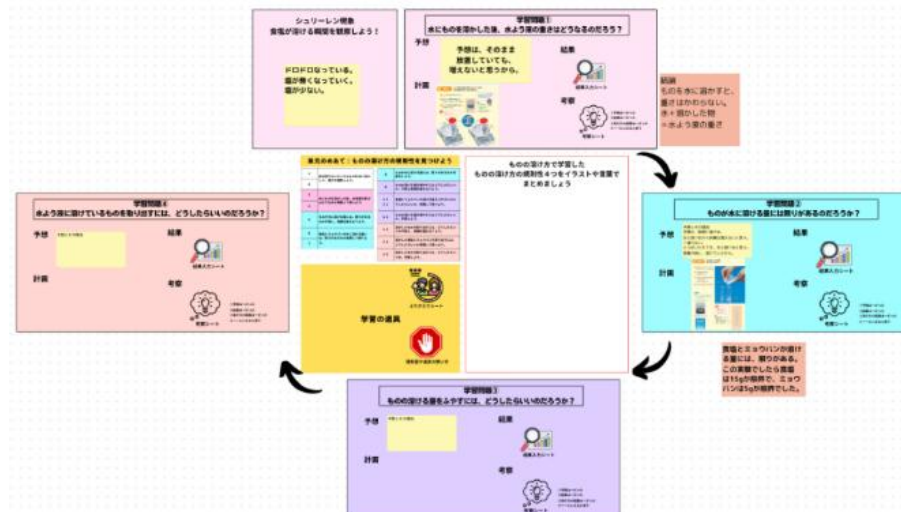
【取組内容】 個別最適な学びと協働的な学びを保障するための「学びの地図」の活用

単元や本時の学習内容や評価、必要な情報や振り返り用のシートに容易にアクセスできるようにこれらを一元化した「学びの地図」を作成した。これらは、単元の始めに児童に配信し、学習を進めていった。



「学びの地図」(3年理科)

既習事項や参考となる写真や動画のリンクを掲載し、児童が任意のタイミングで視聴できるつくりになっている。例では、「ゴム・風」「音」「電気」「じしゃく」で習得した学習内容をいつでも参照し、おもちゃ作りに生かせるようになっている。また、振り返りシートや他者の成果物にもアクセスを容易にすることで、個別最適な学びと協働的な学びの促進につなげた。



「学びの地図」(5年理科)

上記例は、複数時間の学習内容を記したページをデジタルホワイトボード上に並べたものである。5年生理科「ものの溶け方」の学習では、児童自ら実験方法を考え、単元を通して学びを進めていくことができた。各自の実験結果を学級全体で共有することで、納得するまで追実験をしたり、実際に児童同士で対話をしながら、探究的な活動が展開された。